

令和2年度  
一般財団法人松本市芸術文化振興財団  
事業報告書

(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

## 第1 財団運営の総括

### 1 会議の開催状況

年月日	名称	提出議案等
02.04.01	第1回理事会（書面決議）	・評議員会の招集について
02.04.01	第1回評議員会（書面決議）	・理事の選任について
02.04.15	第2回理事会（書面決議）	・評議員会の招集について
02.04.15	第2回評議員会（書面決議）	・理事の選任について
02.06.05	第3回理事会	・令和元年度事業報告及び決算報告について ・理事長の退任について ・評議員会の招集について
02.06.29	第3回評議員会	・令和元年度事業報告及び決算報告について ・理事の退任について ・理事の選任について
02.06.29	第4回理事会	・理事長の選任について
02.10.05	第5回理事会（書面決議）	・令和2年度収支補正予算（第1次） ・評議員の招集について
02.10.20	第1回評議員・理事・監事合同会議	・令和2年度自主事業実施状況等について ・コロナ禍でのこれまでの事業及び今後の事業の方向性について
02.10.20	第4回評議員会	・令和2年度収支補正予算（第1次）
02.12.25	第2回評議員・理事・監事合同会議	・令和2年度事業及び貸館見込について ・令和3年度事業概要について
03.03.18	第6回理事会	・令和2年度収支補正予算（第2号）について ・令和3年度事業計画及び収支予算について ・評議員会の招集について
02.03.18	第5回評議員会	・令和2年度収支補正予算（第2号）について ・令和3年度事業計画及び収支予算について

## 2 所管業務

令和2年度は、松本市から指定管理者の指定を受けた、美術館施設2館、文化芸術施設3館において、施設ごとに運営目標を定め「多彩で特色ある自主事業」と「幅広い市民利用の促進」とのバランスを図りながら、管理運営の効率性を追求するとともに、市民に親しまれる館運営に努めてまいりました。

特に自主事業では、各施設の強みを活かした事業を実施するとともに、地元にはゆかりのある出演者による公演、芸術性の高い作品から娯楽性のある作品の公演等、幅広い事業を行うことで、文化芸術活動の普及を図りました。

## 3 厳しい財政状況への対応

### 経費の縮減

依然として厳しい財政状況のなかで、国をはじめとする助成制度の積極的な活用により、自主事業の財源確保を図るとともに、コスト意識を持ち効率的な事業運営による経費の縮減に努め、市民の文化芸術に触れる機会や活動の場を提供しました。

## 4 環境問題への対応

利用状況に応じた開館時間の短縮、冷暖房の適切な温度設定、不用な照明の消灯に心がけるなど積極的に省エネルギー対策へ取り組みました。

また、音楽文化ホール、波田文化センターに続き、まつもと市民芸術館においても新電力への契約切替により、太陽光や風力など自然エネルギー由来の電力を使用しています。

## 5 財団機能強化

### (1) 経営の健全化

会計・税務業務を税理士に委託し、事務の適正化を図りました。

職員のコンプライアンスに対する意識高揚とコスト意識向上を図るため、職員研修を実施しました。

### (2) 財団改革

「財団改革の基本方針」（平成18年3月策定）並びに松本市の「外郭団体等への市の関与のあり方の基本方針」に基づく経営計画に沿い、財団の機能強化を図りました。

令和2年12月から社会保険労務士と契約締結をし、職員の働き方改革に着手しました。

## 6 新型コロナウイルス感染症への対応

国や県のガイドライン等を遵守徹底し、次の対策を推奨かつ講じ、でき得る限り事業を行うことで、文化芸術振興を図るとともに市民の生活に潤いと豊かさをもたらすよう努めました。

市の要請に基づき4月18日から5月15日まで休館しましたが、開館後の8月28日から3月31日までの期間は貸館利用料金を半額とし文化団体の支援をおこないました。

### (1) 感染防止の基本的対応

- ①人と人との距離の確保
- ②マスクの着用・咳エチケットの呼びかけ
- ③こまめな手洗い・手指消毒
- ④入場時の検温の実施、入場者の連絡先の取得、入場前の座席の消毒

### (2) 三密の回避

- ①会議室・練習室の定期的な換気の呼びかけ
- ②入場時等の間隔の確保
- ③会話を控えることの呼びかけ

## 7 職員体制

令和3年3月31日現在

単位：人

区分		部長級職名	人数	課長級職名	人数	係長級職名	人数	職名等	人数	計
事務局	市職	局長	1	次長兼会計課長	1	次長補佐兼会計係長	1	一般事務	1	4
	財団							一般事務	1	1
	計		1		1		1		2	5
美術館	市職			副館長	1	副館長補佐	2			3
	財団							一般事務 売店事務	1 1	2
	計				1		2		2	5
梓川アカデミア館	市職			館長 (美術館副館長兼務)	(1)	館長補佐 (美術館課長補佐)	(2)			
	財団							一般事務 学芸員	1 1	2
	計								2	2
音楽文化ホール	財団	館長	1			館長補佐 プロデューサー	1	一般事務 企画営業 企画広報 オルガニスト	4 1 1 1	10
	計		1				2		7	10
市民芸術館	市職			支配人 (事務長兼務)	1	係長	1			2
	財団	芸術監督	1			プロデューサー 舞台技術部長	1 1	一般事務 企画制作 監督補佐 舞台技術	5 7 1 6	22
	計		1		1		2		18	22
波田文化センター	市職			館長 (芸術館支配人兼務)	(1)					
	財団					係長 (企画制作事務)	1	一般事務 舞台技術	1 1	3
	計						1		2	3
合計	市職		1		3		4		1	9
	財団		2		0		5		32	39
	計		3		3		9		33	48

## 第2 各施設の事業報告

### 1 松本市美術館

#### 活 動 の 概 要

##### 1 基本目標

- (1) 松本市美術館が市立の施設であることを十分認識して、法令を遵守するとともに、利用者サービス向上に取り組みます。
- (2) 美術館が目指す「四つの場」〈鑑賞・表現・学習・交流の場〉を踏まえた管理運営を行い、美術館が生涯学習の拠点として市民に親しまれ、生きがいと潤いのある市民文化の醸成が図られることを目指します。

《鑑賞の場》 美術資料の鑑賞に適した展示環境を創出し、地域や世界の優れた美術作品を身近に鑑賞できる機会を充実します。

《表現の場》 市民の芸術活動の発表や展示ができる表現の場の提供を通して、未来への発展を展望する美術遺産の創成を支えます。

《学習の場》 生涯学習を推進する学習拠点として、各種学習機会を市民に提供し、未来の芸術文化の担い手となる人材の育成を図り芸術文化に親しむ環境をつくります。

《交流の場》 美術館活動を通じて地域に開かれた身近で親しみやすい交流の場、ふれあいの機会の充実に努めます。

##### 2 令和2年度の重点的な取り組みの成果

###### (1) 企画展への運営協力

令和2年度は3本の企画展を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症対策の影響により、よみがえる「正倉院展」は開催中止、「柚木沙弥郎のいま」は会期を変更して開催しました。「みんなのミュシャ展」は地元テレビ局との共催で予定どおり開催し、感染症対策の徹底、混雑時の入場制限など、適切な対応を図ったうえで、来場者数は目標の4万人を達成することができました。

###### (2) 施設管理・来場者サービスの向上

お客さまに「来てよかった」、「また利用したい」と思っただけのような、ホスピタリティ（おもてなし）の向上に努めるとともに適切な施設・設備の維持保全等を図り、お客さまにとって快適な環境の提供に努め、次の業務を行いました。

また、新型コロナウイルス感染症対策として受付・監視業務スタッフを増員し、安全で安心して鑑賞できる環境づくりに取り組みました。

ア 来館者へのマスク着用、検温、来館者カード記入のお願い

イ 密を避けるための観覧者の誘導案内

###### (3) ミュージアムショップ運営

常設・企画展示室に続く第3の展示室と位置づけ、お客様に「夢をお持ち帰りいただく空間」を目指した魅力あふれるショップ運営に取り組みました。

##### 3 利用促進対策の成果

- (1) 施設管理業務等に関しては、来館者アンケート等利用者の意見を参考に運営の改善を図りリピート利用の促進に努めました。（アンケート回答者：311人）
- (2) 美術館ホームページについて、運用を担う指定管理者の立場から、より効果的な広報に結びつくものとなるよう工夫しました。

## 施設利用状況

### 1 観覧者数 開館日数267日（元年度291日）

施設		2年度	元年度	前年度対比	
				増減	増減率
有料	個人（人）	70,935	125,839	△ 54,904	-43.6%
	団体（人）	194	3,215	△ 3,021	-94.0%
	計（人）	71,129	129,054	△ 57,925	-44.9%
無料（人）		32,998	31,391	1,607	5.1%
合計		104,127	160,445	△ 56,318	-35.1%

### 2 施設別利用状況

施設		2年度	元年度	前年度対比	
				増減	増減率
市民ギャラリー	利用日数（日）	104	243	△ 139	-57.2%
	利用可能日数（日）	267	291	△ 24	-8.2%
	利用率（%）	39.0%	83.5%	△ 44.6ポイント	
講座室	利用日数（日）	55	196	△ 141	-71.9%
	利用可能日数（日）	267	291	△ 24	-8.2%
	利用率（%）	20.6%	67.4%	△ 46.8ポイント	
多目的ホール	利用日数（日）	24	164	△ 140	-85.4%
	利用可能日数（日）	267	291	△ 24	-8.2%
	利用率（%）	9.0%	56.4%	△ 47.4ポイント	

### 3 施設利用者数

	2年度		元年度		前年度対比		
	件数	人数	件数	人数	件数	人数	増減率
市民ギャラリー等（人）	30	21,522	79	79,031	-49	△ 57,509	-72.8%
講座・講演会・コンサート等（人）	104	1,785	245	6,110	-141	△ 4,325	-70.8%
合計	134	23,307	324	85,141	-190	△ 61,834	-72.6%

### 4 利用料金収入【参考】

	2年度	元年度	前年度対比	
			増減	増減率
施設使用料	1,490,880	6,055,080	△ 4,564,200	-75.4%
合計	1,490,880	6,055,080	△ 4,564,200	-75.4%

## 2 松本市梓川アカデミア館

### 活 動 の 概 要

#### 1 基本目標

- (1) 松本市梓川アカデミア館が市立の施設であることを十分認識し、法令を遵守するとともに、利用者サービスの向上に取り組みます。
- (2) 梓川地区の歴史と文化遺産を今に伝える資料展示のほか、松本市西部地区の文化・芸術の拠点として市民に親しまれ、生きがいや潤いのある市民文化の醸成が図られることを目指します。

#### 2 令和2年度の重点的な取組みの成果

- (1) 松本市美術館と一体管理のため、業務にあたっては美術館と連携・協力しながら管理運営を行いました。
- (2) 施設全体を良好な状態に保ち、利用される皆様に気持ち良くご利用いただくために、利用者アンケートの結果や実際のご意見を参考に相手の立場に立った親切な対応を心がけました。
- (3) 2年度は新型コロナウイルスの影響で中止となったワークショップもありましたが、新たに3つのワークショップを企画するなど、年間6つのワークショップを実施し、教育普及事業の充実を図りました。コロナウイルスによる自粛生活が続いていますが、感染症対策を徹底したうえで、絵画講座や絵本作り講座を開催することで、生きがいづくりに繋がりました。

#### 3 利用促進対策の成果

- (1) 1階アクセスギャラリーを「みんなのアトリエ」として一般開放し、新規ギャラリー利用者につながるきっかけとなるよう働きかけました。「みんなのアトリエ」は美術愛好家の皆さんの発表の場として定着し2年度は7件の利用がありました。
- (2) 地域の解説ボランティア6名が民俗資料説明コンシェルジュとして協力し活動することで交流促進、高齢者の生きがいづくりにつながりました。
- (3) 広報誌「アカデミア館便り」を月1回発行し主に梓川地区・波田地区に配布。また、プレスリリースによるマスコミへの情報発信等、より効果的な周知に努めました。

## 施設利用状況

### 1 観覧者数 開館日数260日（元年度287日）

施設		2年度	元年度	前年度対比	
				増減	増減率
常設展	有料（人）	638	465	173	37.2%
	無料（人）	722	1,041	-319	-30.6%
	計（人）	1,360	1,506	-146	-9.7%
企画展（人）		1,413	1,443	-30	-2.1%
合計		2,773	2,949	-176	-6.0%

### 2 施設別利用状況

施設		2年度	元年度	前年度対比	
				増減	増減率
ギャラリー	利用日数（日）	130	164	△ 34	-20.7%
	利用可能日数（日）	260	287	△ 27	-9.4%
	利用率（%）	50.0%	57.1%	△ 7.1ポイント	
第2ギャラリー	利用日数（日）	208	220	△ 12	-5.5%
	利用可能日数（日）	260	286	△ 26	-9.1%
	利用率（%）	80.0%	76.9%	3.1ポイント	
アクセスギャラリー	利用日数（日）	138	171	△ 33	-19.3%
	利用可能日数（日）	260	286	△ 26	-9.1%
	利用率（%）	53.1%	59.8%	△ 6.7ポイント	
屋外施設	利用日数（日）	1	1	0	0.0%
	利用可能日数（日）	260	286	△ 26	-9.1%
	利用率（%）	0.4%	0.3%	0.0ポイント	

### 3 施設利用者数

	2年度		元年度		前年度対比		
	件数	人数	件数	人数	件数	人数	増減率
ギャラリー・第2ギャラリー	30	5,874	54	16,676	△ 24	△ 10,802	-64.8%
アクセスギャラリー	7	3,497	14	10,636	△ 7	△ 7,139	-67.1%
屋外施設	1	2	1	1,500	0	△ 1,498	-99.9%
合計	38	9,373	58	25,595	-31	△ 16,222	-63.4%

### 4 利用料金収入【参考】

	2年度	元年度	前年度対比	
			増減	増減率
施設使用料	643,680	872,000	△ 228,320	-26.2%
合計	643,680	872,000	△ 228,320	-26.2%

### 3 松本市音楽文化ホール

#### 活動の概要

#### 1 基本目標

市民の音楽文化の振興と福祉の増進を図ることを目的に設置された施設として、また音楽文化に係る創作、研究、練習、発表及び鑑賞等のための専門性の高い施設として、次の項目を基本目標に掲げ管理・運営を行います。

- (1) 音楽専門ホールとして、国内外の優れた音楽家を招聘し世界最高水準の演奏を提供するとともに、優れた演奏家による高校生等を対象としたクリニックの開催を通じ、音楽技術の向上を図ります。
- (2) 松本市出身者や松本市在住で、活躍している演奏家による演奏会やセミナーを企画するとともに、市民や音楽団体との共催事業を通じて市民の音楽文化の向上を図ります。
- (3) 県内唯一のコンサート用オルガン及びホール所有のチェンバロを活用した演奏会や講習会等を開催し、特色ある事業を展開します。
- (4) 地域に密着した施設として、音楽愛好団体等への活動支援や、積極的な育成援助を行います。

#### 2 令和2年度の重点的な取組みの成果

- (1) 優れた音響を誇る音楽専門ホールにふさわしく、国内外の最高のクオリティの演奏家を招き、市民の音楽経験を豊かなものとするべく事業を企画しましたが、新型コロナウイルスの感染拡大に伴って海外の演奏家の来日が叶わず、多くの公演を中止せざるを得なくなりました。
- (2) サイトウ・キネン・オーケストラ、松本市新人演奏会等、松本市および音楽文化ホールが培ってきた音楽的財産を生かし、さらなる発展を図る企画に力を入れました。
- (3) オルガン・チェンバロなどホール所蔵の楽器に市民に広く親しんでいただくための演奏会・講習会を行いました。また、ポジティブオルガンを活用したアウトリーチを実施しました。

#### 3 利用促進対策の成果

- (1) 新型コロナウイルス感染拡大に伴う対応としては、国・県及び市から提示されたガイドラインや各音楽団体より出されたガイドラインを基に、当館に則したチェックリストと利用案内を作成し、安心して利用してもらえる施設を心掛けました。  
また、各利用者にあった感染予防対策の案内ができるよう、打ち合わせに時間も設けました。
- (2) 自主事業と貸館利用との相乗的な促進効果を得るために、多くが利用登録団体である市内の合唱団を取り込んだ事業、市民音楽団体との共催事業を予定していましたが、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、中止となりました。また、U-25や託児サービスなど、より幅広い客層を取り込むサービスの周知に努めました。
- (3) 令和元年度にリニューアルした会報誌「ハーモニー」、SNS（facebook、Twitter）など多様な広報チャネルを活用して、幅広い層に向けた広報の充実を図りました。

# 施設利用状況

## 1 施設別利用状況

施設		2年度	元年度	前年度対比	
				増減	増減率
メインホール	利用日数(日)	197	277	△ 80	-28.9%
	利用可能日数(日)	271	296	△ 25	-8.4%
	利用率(%)	72.7%	93.6%	△ 20.9ポイント	
小ホール	利用日数(日)	205	277	△ 72	-26.0%
	利用可能日数(日)	269	298	△ 29	-9.7%
	利用率(%)	76.2%	93.0%	△ 16.7ポイント	
練習室	利用日数(日)	170	271	△ 101	-37.3%
	利用可能日数(日)	267	301	△ 34	-11.3%
	利用率(%)	63.7%	90.0%	△ 26.4ポイント	

## 2 来館者数

	2年度		元年度		前年度対比		
	件数	人数	件数	人数	件数	人数	増減率
メインホール	236	8,732	365	58,908	△ 129	△ 50,176	-85.2%
小ホール	296	5,337	443	13,068	△ 147	△ 7,731	-59.2%
練習室	459	2,742	1,043	10,581	△ 584	△ 7,839	-74.1%
合計	991	16,811	1,851	82,557	△ 860	△ 65,746	-79.6%

## 3 利用料金収入

目標	利用料金収入	19,680 千円
----	--------	-----------

	2年度	元年度	前年度対比	
			増減	増減率
ホール利用料	1,401,220	6,332,180	△ 4,930,960	-77.9%
練習室利用料	563,910	2,220,200	△ 1,656,290	-74.6%
設備利用料	4,093,580	9,826,500	△ 5,732,920	-58.3%
合計	6,058,710	18,378,880	△ 12,320,170	-67.0%

※還付額(前年度収納分を含む)と前受金(次年度利用分)を利用料金収入より差引

利用取消等還付額	-5,275,685
前受金処理変更額	-123,850
差引	659,175

## 4 まつもと市民芸術館

### 活 動 の 概 要

#### 1 基本目標

- (1) 世界的にも高い水準の芸術文化を創造・鑑賞する場とします。
- (2) 市民の芸術文化創造とその支援及び発表の場とします。
- (3) 市民が親しみやすく、新しいまち全体の賑わいと文化の潤いが生れる場とします。
- (4) これらを通じて、市民が交流する場とします。

#### 2 令和2年度の重点的な取組みの成果

- (1) 松本の厳しい冬に気軽に演劇を楽しんでいただく『冬のカーニバル』第二弾は、コロナの感染者が多く出た時期の上演となったが、万全の対策を講じ、東京公演も含め無事に上演することができました。
- (2) 長野県芸術監督団との連携企画は、コロナ禍のためレジデントを取りやめ、キャスト、スタッフも県内の人材に切り替えるなどコンセプトの変更を余儀なくされました。  
演目を『ヴォイツェック』から串田監督の新作『そよ風と魔女たちとマクベスと』に変更し、出演はICアルプ、スタッフも芸術館の技術部が中心となりました。スタッフに大きな負荷がかかりましたが、芸術館のクリエイションスキルには高い評価を得ました。
- (3) コロナ禍中、招聘公演は3作品、共催は2演目が中止となりました。松本の感染状況が落ちついていても、東京で中止となれば松本でも上演ができなくなるため、今後は芸術館のレパートリー作品を持つ必要性を感じました。その布石として『月夜のファウスト』と『A walk in the woods～森の中で』を、年度中に新たに出来た文化庁の助成金を得て、シアターパークで上演しました。この2作品は令和3年の重点目標の1つであるシアターパーク企画の先駆けという意味合いも持っています。

#### 3 利用促進対策の成果

- (1) 新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言の発出等で休館した時期がある等、当館の努力が及ばない状況が続いた1年でありましたが、7月には自主事業を再開、また9月には「まつもと街なかジャズフェスティバル」を初開催するなど、厳しい条件のなか、感染拡大防止に努めながら、市民の皆さまを芸術に触れる機会を提供することができました。
- (2) また、毎年3月に開催している『バックステージツアー』は、オンライン開催に企画を変更し、動画でしか目に触れることができない天井やオーケストラピットの昇降場面を提供するなど、視点を変えた情報発信を行いました。

# 施設利用状況

## 1 施設別利用状況

施設		2年度	元年度	前年度対比		
				増減	増減率	
主ホール	利用日数	自主事業	37	108	△ 71	-65.7%
		貸館（市主催）	1	34	△ 33	-97.1%
		貸館（一般）	61	125	△ 64	-51.2%
	利用日数計（日）		99	267	△ 168	-62.9%
	利用可能日数（日）		234	293	△ 59	-20.1%
	利用率（%）		42.3%	91.1%	△ 48.8ポイント	
小ホール	利用日数	自主事業	24	28	△ 4	-14.3%
		貸館（市主催）	4	8	△ 4	-50.0%
		貸館（一般）	88	121	△ 33	-27.3%
	利用日数計（日）		116	157	△ 41	-26.1%
	利用可能日数（日）		250	214	36	16.8%
	利用率（%）		46.4%	73.4%	△ 27.0ポイント	
オープンスタジオ	利用日数	自主事業	149	137	12	8.8%
		貸館（市主催）	2	26	△ 24	-92.3%
		貸館（一般）	67	85	△ 18	-21.2%
	利用日数計（日）		218	248	△ 30	-12.1%
	利用可能日数（日）		291	313	△ 22	-7.0%
	利用率（%）		74.9%	79.2%	△ 4.3ポイント	
スタジオ2	利用日数	自主事業	112	138	△ 26	-18.8%
		貸館（市主催）	0	20	△ 20	-100.0%
		貸館（一般）	105	51	54	105.9%
	利用日数計（日）		217	209	8	3.8%
	利用可能日数（日）		297	296	1	0.3%
	利用率（%）		73.1%	70.6%	2.5ポイント	
スタジオ3	利用日数	自主事業	79	72	7	9.7%
		貸館（市主催）	1	24	△ 23	-95.8%
		貸館（一般）	94	118	△ 24	-20.3%
	利用日数計（日）		174	214	△ 40	-18.7%
	利用可能日数（日）		296	306	△ 10	-3.3%
	利用率（%）		58.8%	69.9%	△ 11.2ポイント	
スタジオ4	利用日数	自主事業	65	85	△ 20	-23.5%
		貸館（市主催）	0	24	△ 24	
		貸館（一般）	100	81	19	23.5%
	利用日数計（日）		165	190	△ 25	-13.2%
	利用可能日数（日）		297	299	△ 2	-0.7%
	利用率（%）		55.6%	63.5%	△ 8.0ポイント	
M2会議室	利用日数	自主事業	51	54	△ 3	-5.6%
		貸館（市主催）	1	22	△ 21	-95.5%
		貸館（一般）	42	83	△ 41	-49.4%
	利用日数計（日）		94	159	△ 65	-40.9%
	利用可能日数（日）		296	261	35	13.4%
	利用率（%）		31.8%	60.9%	△ 29.2ポイント	

## 2 来館者数

			2年度		元年度		前年度対比		
			件数	人数	件数	人数	件数	人数	増減率
主ホール	音楽系	クラシック	4	6,566	13	47,687	△ 9	△ 41,121	-86.2%
		ポピュラー	10		35		△ 25		
		邦楽	1		2		△ 1		
		その他	0		0		0		
		オペラ	0		5		△ 5		
	芸能系	ミュージカル	0	11,483	5	33,380	△ 5	△ 21,897	-65.6%
		演劇	24		56		△ 32		
		古典芸能	4		3		1		
	舞踊系	バレエ・日舞・ダンス	2	745	10	6,823	△ 8	△ 6,078	-89.1%
	その他	大会・集会・収録・リハーサル	19	5,945	63	37,665	△ 44	△ 31,720	-84.2%
計		64	24,739	192	125,555	△ 128	△ 100,816	-80.3%	
小ホール	音楽系	クラシック	13	1,084	20	4,961	△ 7	△ 3,877	-78.1%
		ポピュラー	1		17		△ 16		
		邦楽	0		2		△ 2		
		その他	0		1		△ 1		
	芸能系	演劇	5	572	17	2,358	△ 12	△ 1,786	-75.7%
		古典芸能	1		2		△ 1		
	舞踊系	バレエ・日舞・ダンス	2	259	2	347	0	△ 88	-25.4%
	その他	大会・集会・収録・リハーサル	128	5,167	110	7,818	18	△ 2,651	-33.9%
計		150	7,082	171	15,484	△ 21	△ 8,402	-54.3%	
スタジオ・会議室			-	9,556	-	19,866	-	△ 10,310	-51.9%
見学他			-	30,342	-	95,749	-	△ 65,407	-68.3%
合計			214	71,719	363	256,654	△ 149	△ 184,935	-72.1%

## 3 利用料金収入

目標	利用料金収入	36,980 千円
----	--------	-----------

	2年度	元年度	前年度対比	
			増減	増減率
利用料金	10,221,630	36,045,880	△ 25,824,250	-71.6%
合計	10,221,630	36,045,880	△ 25,824,250	-71.6%

## 5 松本市波田文化センター

### 活 動 の 概 要

#### 1 基本目標

- (1) 小ホールながら多目的な利用を図れる特徴を活かした幅広い利用を図ります。
- (2) 自主事業においては、西部地域の学校や団体との関わりを大切にし、鑑賞の場だけでなく、アウトリーチ事業などを引き続き積極的に行っていきます。
- (3) 貸館にあたっては、地域に密着した施設として音楽愛好家団体等の活動の援助する一方で、広く利用いただけるように努めます。

#### 2 令和2年度の重点的な取組みの成果

##### (1) 自主事業

昨年度の3月予定だったコンサートと子ども向けのイベントを、改めて延期開催することが出来、チケット購入者には楽しんでいただきました。  
その他の事業に関してはコロナ禍の中で中止した事業もありましたが、概ね規模や集客方法を検討し、安全に行うことができました。

##### (2) 地域や他団体との協同

映画上映に際しては、松本市、エクセラン高校、松本市立病院などに協力していただき、テーマに即したイベントも行いました。

##### (3) 継続している事業

ピアノを一般の方に開放するイベントなどは、開催の方法などを検討し安全な中で参加者にもご理解とご協力をいただきながら予定通り行うことが出来ました。

#### 3 利用促進対策の成果

##### (1) 貸館

コロナの感染拡大予防を第一に、非接触型体温計の貸出し、消毒液の設置、事前説明など丁寧に行いました。打ち合わせもすべて電話やメールで行い、その上で感染状況が原因の変更やキャンセルも柔軟に対応しました。

##### (2) 利用者アンケート

コロナの感染拡大予防の観点から自主事業のアンケートは行いませんでした。貸館利用者には利用報告書を提出いただき、感想や要望などの改善に努めるようにしました。

##### (3) イベントガイド

催事のほとんどが中止または延期になったことから、令和2年度の作成は取りやめることとしました。自主事業に関しては催行が決まり次第に新聞等を利用して周知しました。

# 施設利用状況

## 1 施設別利用状況

施設		令和2年度	元年度	前年度対比	
				増減	増減率
アクトホール	利用日数（日）	57	75	△ 18	-24.0%
	利用可能日数（日）	263	283	△ 20	-7.1%
	利用率（%）	21.7%	26.5%	△ 4.8ポイント	
練習室	利用日数（日）	97	141	△ 44	-31.2%
	利用可能日数（日）	263	283	△ 20	-7.1%
	利用率（%）	36.9%	49.8%	△ 12.9ポイント	
第1会議室	利用日数（日）	23	59	△ 36	-61.0%
	利用可能日数（日）	263	283	△ 20	-7.1%
	利用率（%）	8.7%	20.8%	△ 12.1ポイント	
第2会議室	利用日数（日）	33	61	△ 28	-45.9%
	利用可能日数（日）	263	283	△ 20	-7.1%
	利用率（%）	12.5%	21.6%	△ 9.0ポイント	
第3会議室	利用日数（日）	126	170	△ 44	-25.9%
	利用可能日数（日）	263	283	△ 20	-7.1%
	利用率（%）	47.9%	60.1%	△ 12.2ポイント	
ハイビジョンシアター	利用日数（日）	1	23	△ 22	-95.7%
	利用可能日数（日）	263	283	△ 20	-7.1%
	利用率（%）	0.4%	8.1%	△ 7.7ポイント	
展望室	利用日数（日）	0	8	△ 8	-100.0%
	利用可能日数（日）	263	283	△ 20	-7.1%
	利用率（%）	0.0%	2.8%	△ 2.8ポイント	
ギャラリー	利用日数（日）	31	0	31	#DIV/0!
	利用可能日数（日）	263	283	△ 20	-7.1%
	利用率（%）	11.8%	0.0%	11.8ポイント	

## 2 来館者数

	令和2年度		元年度		前年度対比		
	件数	人数	件数	人数	件数	人数	増減率
アクトホール	57	3,817	82	8,403	△ 25	△ 4,586	-54.6%
練習室	112	605	127	1,848	△ 15	△ 1,243	-67.3%
第1会議室	24	203	63	756	△ 39	△ 553	-73.1%
第2会議室	34	168	62	735	△ 28	△ 567	-77.1%
第3会議室	127	1,077	191	1,077	△ 64	0	0%
ハイビジョンシアター	1	10	21	429	△ 20	△ 419	-97.7%
展望室	0	0	8	70	△ 8	△ 70	-100.0%
ギャラリー	1	103	0	0	1	103	#DIV/0!
合計	356	5,983	554	13,318	△ 198	△ 7,335	-55.1%

## 3 利用料金収入

目標	利用料金収入	5,780 千円
----	--------	----------

	令和2年度	元年度	前年度対比	
			増減	増減率
施設利用料	185,171	925,050	△ 739,879	-80.0%
設備利用料	1,075,900	1,886,660	△ 810,760	-43.0%
合計	1,261,071	2,811,710	△ 1,550,639	-55.1%